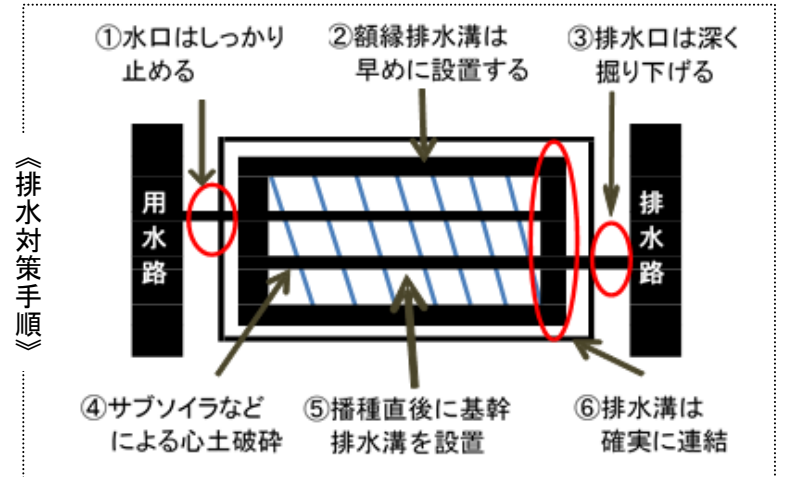


## 1 排水対策

～ 排水対策は早期に！ ～

- ①額縁排水溝は、幅30cm、深さ20cm以上を目安に設置し、播種直後に溝の手直しを行い、確実に排水しましょう。
- ②透水性の悪い場合は、心土破砕により排水を改善しましょう。  
(弾丸暗渠の目安：間隔：3～5m、深さ30～40cm程度)
- ③隣接水田や用水路、水口からの漏水を防止しましょう。



## 2 土づく

～ 石灰質資材で土壌pH6.0～6.5を確保！ ～

- ①地力向上のため、堆肥等の有機物を積極的に施用しましょう(表1参照)。
- ②耕起前に必ず苦土石灰を100～200kg/10a施用しましょう。

■表1 堆肥の施用量目安

種類	施用量(/10a)
牛ふん堆肥	1 ～ 2 t
豚ふん堆肥	0.5 ～ 1 t
発酵鶏糞	100 ～ 200kg

## 3 病害虫防除

～ 種子消毒で病虫害の発生を防止！ ～

○種子伝染性病害やフタスジヒメハムシ等の初期害虫の発生を防止するため、必ず薬剤の種子塗抹を行いましょう。

薬剤名	処理法	対象病虫害	使用上の注意
クルーザーMAXX	種子5kg当たり 40ml塗抹 (乾燥種子1kg当たり原液8mlを塗抹)	アブラムシ類、タネバエ、ネキリムシ類、フタスジヒメハムシ、茎疫病、紫斑病、苗立枯病、リゾクニア根腐病、黒根腐病	塗抹後、種子を十分に乾かす 注:大豆播種機の目詰まり対策資材の「タルク」を使用する。

## 4 播種

～ 耕起から碎土・整地、播種、作溝、除草剤散布までの一連の作業は1日で行いましょう！ ～

- ①土壌が乾いた状態で低速で耕起し、碎土率を高めましょう。
- ②目標栽植本数を確保するため、播種機の目皿やスプロケットを調整しましょう(表2参照)。
- ③播種時に、播種深度3cm程度とm当りの播種粒数等を確認し、適宜調整しましょう。  
また、欠株を出さないよう、ゆっくり歩く程度の速さ(0.5m/秒)で播種作業を行いましょう。
- ④土壌条件や土壌診断結果に基づき、適正な基肥量を施用しましょう(表3参照)。
- ⑤除草剤の効果上げるため、碎土率を高め、播種直後に規定量を均一に散布しましょう(表4参照)。

青立ち株の発生を防ぐため、極端に早い播種は避けましょう。

■表2 播種量等の目安(条間80cm、播種精度95%、苗立率90%)

品種	播種時期	目標栽植本数(本/10a)	播種量(kg/10a)	目皿式播種機			ロール式播種機			播種粒数(粒/m)
				目皿	スプロケット		ロール	スプロケット		
					目皿側	車輪側		操出軸側	接地輪側	
エンレイ	5月25日～6月上旬	14,000～16,000	4.9～5.6	B-2	10～11	13	白色	10	14	12～14
				B-22	14	9～10	黒色	11	13	
	6月中旬	16,000～18,000	5.6～6.3	B-2	9～10	14	白色	9	15	14～17
				B-22	13	10	黒色	10	14	
シュウレイ	5月25日～6月上旬	12,000～15,000	4.9～6.2	B-3	10～11	11	白色	11	13	11～13
					11	13	黒色	12	12	
	6月中旬	15,000～18,000	6.2～7.4		10	13～14	白色	10	14	
					9	14	黒色	11	13	
オオツル	6月上旬	10,000～12,000	4.1～5.0	B-3	13	11	白色	12	12	9～11
					11	10～11	黒色	13	11	
	6月中旬	12,000～14,000	5.0～5.8		10	11	白色	11	13	11～12
					11	13	黒色	12	12	

※ 播種量は、大粒種子(百粒重:エンレイ31.6g、シュウレイ37.1g、オオツル37.2g)で計算。

※ ロール式播種機のロールの溝(穴)数は、白色が8ヶ、黒色が10ヶです。

■スプロケットの位置



■表3 基肥施用量の目安

土壌条件	N	P	K
	(kg/10a)		
砂壌～壤土	3～4	5～8	7～10
埴壌土	2～3		

注:麦跡の場合はN量をそれぞれ2kg多くする。

■表4 除草剤(土壌処理剤)散布量の目安

除草剤名	散布量(/10a)
トレファノサイド粒剤 2.5	4～6kg
ラクサー粒剤	4～6kg
ラクサー乳剤	400～600ml(水1000lで希釈)
プロールプラス乳剤	400～600ml(水70～150lで希釈)